

■ オフセット・クレジットCO2吸収量の取り組み

■ カーボンオフセット活用

■ 森林整備資金の獲得

資金



オフセット・クレジット(J-VER)制度
高知県J-VER制度の運営

県の認証による県内の森林へ制度の普及拡大

県J-VER森林吸収クレジットの資金獲得による産業振興

森を守る「若者の力」



国内排出量取引制度の構築

ポスト京都 2013~2020

京都議定書2008~2012

-2.2%

- ・省エネ等の削減
- ・海外からの排出量取引 (京都メカニズム)

-3.8%

森林による吸収

削減目標

-6%



CO2排出 ? %

- ・省エネ等の削減
- ・海外からの排出量取引 (京都メカニズム)

? %
森林による吸収

削減目標

-25%

国内削減・吸収
努力のクレジット
の活用



高知県J-VER

国内排出量取引制度

キャップ&トレード方式

地球温暖化対策への森林資源の活用

国内排出量取引制度の構築に向けた課題 (森林資源を活用したCO2排出削減・吸収量の活用)

1 オフセット・クレジット(J-VÉR)制度の森林吸収量を活用

- 国の国内排出量取引への活用

- 東京都の環境確保条例への活用

2 永続性担保による森林クレジット価格への理解

- クレジット発行後(制度期間)の森林管理費用の確保

ご清聴ありがとうございました。

最後の清流「四万十川」